①択一式対策講座《理論編》

幅広い知識の習得と得点力を養成

「択一式対策講座(理論編)」の一番の特徴は、本試験で出題可能性の高い論点について、条文・判例の「趣旨」から正確に学ぶことにあります。「趣旨」にウエイトを置いた講座であり、中上級者向けの講座でありがちな「論点詰込み型」の講義ではありません。条文や判例の趣旨を理解し、論理の流れを理解することで知識を整理していきます。「択一式対策講座(理論編)」では、最新判例などを加筆し、本試験頻出論点だけではなく、本試験未出題の論点で出題が予想される論点も網羅したテキストを用い、各論点の「趣旨」を明らかにすることから講義はスタートします。知識の根幹を正確に押さえることで、どのような形式の問題にも対応できる知識を習得する足掛かりを掴むことができます。「趣旨」を理解した後は、出題可能性のある知識を派生論点まで含めた講義を実施します。趣旨→各論点の整理という流れで講義は実施されるので、各論点への理解度は今までとは比較にならないほど深まります。ここで得た知識が本試験で効果を発揮します。

※上記カリキュラムは8月開講の実施イメージです

②択一式対策講座《実践編》

演習と解説講義で重要論点を整理

「択一式対策講座(実践編)」では、理論編で学んだ知識を本試験仕様に徹底的に磨き上げることを一番の目的としています。

講義は「一問一答形式の演習→解説」と「5肢択一形式の演習→解説」と2つのパートに分けて実施します。

「一問一答形式の演習」では、一問一答形式の問題を大量に出題し、30分で解いていただきます。正解・不正解を瞬時に判断しないと解ききれない場面を作ることで、あやふやな知識をあぶりだすことができ、正確な知識へと磨きあげ、さらに解答スピードを上げることができます。

「5肢択一形式の演習」では本試験と同形式の5肢択一形式の問題を解くことにより、論点の総整理を行うと同時に、本試験での解法テクニックを身につけていきます。

演習後の解説講義では、図表を中心にしたレジュメを用い、解説だけにとどまらず、派生論点や最新判例・先例も紹介しますので、知識を横断的に整理することができます。新作問題・過去問・過去問改題と2012年出題が予想される論点を網羅した問題を出題します。実践的な知識をこの講座で身につけることができます。

③4記述式対策講座《不動産登記法・商業登記法》

【理論編】申請書を書くための思考力を身につける

記述式試験の攻略方法として方法論は様々あると思いますが、この講座では申請書パターンを押さえながら記述式試験での思考方法を学習します。「ゴールから逆算して考える」というアプローチです。記述式試験は申請書作成能力を問うものです。様々な問題が出題されますが、書くべき申請書にはパターンが存在します。ゴールが分かっているのですから、そこから逆算して何をどう書くべきか学ぶことが一番効率が良いのです。「記述式対策講座(理論編)」では、「Model Notes」というテキストを用い、申請書のパターンを徹底的に押さえます。申請書にはどのようなパターンがあるのか、申請書にどのように知識を落とし込んでいけばよいのかを解説していきます。何をどのように書くべきかという思考過程がこの作業の中で身についていきます。また、「代理すべきでない事項」など、記述式で必要となる事項などについても整理して、本試験で出題が予想される論点についての解説も行います。出題が予想される論点がどのように申請書に落とし込まれていくのか。この流れを「記述式対策講座(理論編)」で押さえることができます。

【実践編・実践総合】問題を通して、実際の書き方をマスター

本試験の記述式問題は、複数の論点を組み合わせた形で出題されます。複数の論点の組み合わせではありますが、1つ1つの論点にそれぞれ作成すべき申請書が存在します。論点ごとの申請書が正確に書ければ、その積み重ねで高得点を取ることができます。

そこで、「記述式対策講座(実践編)」では、「記述式対策講座(理論編)」で学ぶ申請書のパターンを、「論点別」の問題、「論点複合型」の問題の2つのパートに分け 問題演習を行います。

「論点別」の問題演習では、「記述式対策講座(理論編)」と連動し、5分~10分程度の問題演習を繰り返し行い、論点ごとの申請書を正確に書けるように訓練をします。この論点ではこの申請書という申請書パターンを正確に押さえます。

「論点複合型」の問題演習では、本試験同様の問題を使い、問題文の読み取り方、申請すべき登記の確定方法といった実践的な思考力を身につけます。

この「論点別」、「論点複合型」の演習により、申請書への論点の落とし込み方(答案作成術)がしっかりと身につく講座設計となっています。

5 早稲田合格答練ジャンプコース

本試験レベルの実戦力を養成

最新の判例・先例を含んだ本試験レベルの問題を出題。Wセミナー講師、司法書士試験合格者を中心に構成する「Wセミナー司法書士 択一・記述式対策委員会」 が長年積み上げてきた本試験分析をもとに、全問新作の本試験予想問題を出題します。

6全国公開模試

本試験シミュレーションで最終仕上げ

4月・6月に実施します。4月の模試では現在の実力と弱点を確認し、6月に2回実施される模試では本試験のシミュレーションで本試験に備えます。問題はすべて本試験レベルの出題で、本試験に出題が強く予想される問題を全問新作問題で出題します。

7全国公開模試解説講座

全国公開模試を最大限活用する

全国公開模試の問題を徹底活用するための講座です。本試験予想問題である全国公開模試で出題された論点を用い、派生論点などを整理していきます。全国公開模試を受験した後に受講することで、知識の整理を効率良く行うことができます。